

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	街路事業				
地区名	都市計画道路 <small>たはらちゅうおうせん</small> 田原中央線				
事業箇所	愛知県田原市田原町 <small>たはら</small>				
事業のあらまし	<p>(都) 田原中央線は、田原市の中心市街地を東西に通じ、<small>とよてつあつみ みかわたはら</small> 豊鉄渥美線三河田原駅や駅前商店街を結ぶ都市幹線道路である。</p> <p>本区間は整備済み区間に挟まれた、車道・歩道とも狭小な未整備区間であり、歩行者や自転車の通行が危険な状況となっている。また、小学校の通学路として指定されているだけでなく、市の交通安全プログラムや都市計画マスタープランにおいても整備が必要な路線として位置づけられている。</p> <p>このため、当該事業は「交通安全対策の強化」「田原市内の交通円滑化」を主な目的として、本路線の歩行空間の確保、田原市内における交通の円滑化と周辺道路の渋滞緩和を図るため、現道を拡幅し、自転車歩行者道、交差点部における右折車線を整備するものである。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>① 交通安全対策の強化</p> <p>② 田原市内の交通円滑化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (2015年度)	再評価時 (2021年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2016～2025	2016～2025	—	
	事業費（億円）	10.0	10.0	—	
	経費内訳	工事費	1.0	1.0	—
		用補費	8.5	8.5	—
	その他	0.5	0.5	—	
	事業内容	現道拡幅整備 延長：L=170m 幅員：W=16m 車線数：2車線	同左		
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>前後区間は既に整備済みであるが、本工区は道路幅員が狭く歩道も狭小である。小学校の通学路にも指定されているため、交通の円滑化及び歩行者等の安全性の向上が必要である。</p> <p>また、田原市の街づくりにおいて、中心市街地の歩行者の回遊性向上を図っているため、連続した歩道の整備が必要である。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>必要性に大きな変化はない。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>大きな変動要因はない。</p>			

判定	B	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p>																																																																													
	<p>【理由】</p> <p>現在の道路状況および通過交通に変化はないことから必要性に大きな変化はない。</p>																																																																														
1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>当初計画</td> <td colspan="4">3.8</td> <td colspan="4">5.5</td> <td>9.3</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="4">2.0</td> <td colspan="4"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="4">2.0</td> <td colspan="4">7.3</td> <td>9.3</td> </tr> </tbody> </table>			2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	合計	工種区分	調査・設計											用地補償											工事											事業費(億円)	当初計画	3.8				5.5				9.3	実績	2.0									今回計画	2.0				7.3				9.3
		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	合計																																																																			
工種区分	調査・設計																																																																														
	用地補償																																																																														
	工事																																																																														
事業費(億円)	当初計画	3.8				5.5				9.3																																																																					
	実績	2.0																																																																													
	今回計画	2.0				7.3				9.3																																																																					
<p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>達成率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.17</td> <td>0.0</td> <td>0%</td> <td>0.17</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>9.3</td> <td>2.0</td> <td>21%</td> <td>9.3</td> <td>21%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>0.5</td> <td>0.0</td> <td>0%</td> <td>0.5</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>7.9</td> <td>1.5</td> <td>19%</td> <td>7.9</td> <td>19%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>100%</td> <td>0.5</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>用地取得の一部を先行予算で実施しており、面積ベースの用地取得率は約 22%</p>			これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】	延長(km)	0.17	0.0	0%	0.17	0%	事業費(億円)	9.3	2.0	21%	9.3	21%	工事費	0.5	0.0	0%	0.5	0%	用補費	7.9	1.5	19%	7.9	19%	その他	0.5	0.5	100%	0.5	100%																																					
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																											
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】																																																																										
延長(km)	0.17	0.0	0%	0.17	0%																																																																										
事業費(億円)	9.3	2.0	21%	9.3	21%																																																																										
工事費	0.5	0.0	0%	0.5	0%																																																																										
用補費	7.9	1.5	19%	7.9	19%																																																																										
その他	0.5	0.5	100%	0.5	100%																																																																										
2) 未着手又は長期化の理由	<p>用地買収着手済であるものの、一部用地交渉が難航しており、用地買収が未完了である。</p>																																																																														
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <p>大きな阻害要因ではないが、一部用地交渉が難航しており、用地買収が完了していない。</p> <p>【今後の見込み】</p> <p>今後も引き続き用地交渉を続け、用地買収及び工事を進めることにより、2025 年度に完了する見込みである。</p>																																																																														
判定	B	<p>A： これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B： 次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C： 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>																																																																													

②事業の進捗状況及び見込み

	<p>【理由】 用地買収が残っているものの、引き続き交渉を進め、進展がみられており、2025年度までに事業完了の見込みがあるため。</p>
<p>Ⅲ 対応方針</p>	
<p>継続</p>	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。</p>
<p>Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容</p>	
<p>■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 交通量、安全性の改善状況</p>	